

—高齢者が農業の新たな担い手となり活躍—

07

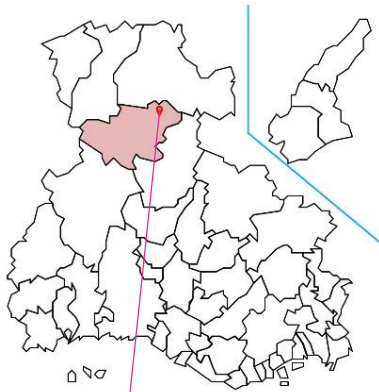
公益社団法人 養父市シルバー人材センター

棚田保全

食育
教育

地産地消

荒廃農地
対策



養父市



環境に配慮した農業で、美しい田園風景を守る



食育の一環として小学生に棚田で田植え体験



収穫体験に毎年都市から多くの人を訪れる

概要

- ・人口減少と高齢化が進む養父市において、中山間地の農業を守っていくには高齢者の活躍が必須。シルバー人材センターが農業を組織的に取り組むことにより、農業の継続性を確保。
- ・荒廃した棚田を借り、水田に再生して米作りに参入。土づくりにこだわり、環境に配慮した農法で栽培。
- ・畑地として活用する農地では、大根、白菜などの野菜を栽培し、地産地消に貢献。また、市の特産品である朝倉山椒を栽培し、6次産業化にも取り組む。

成果

- ・米のおいしさを増すために、天日干しで乾燥し、甘みと粘りを強めるなど付加価値を高め、「温石米（おんじゃくまい）」と名付けて販売。好評を博している。
- ・観光農園を運営し、野菜の収穫体験事業は毎年都市部から多くの人を訪れている。
- ・農業事業を担う会員は、当初の5人から47人まで増え、耕作面積も棚田を中心に約4.3haに広がるなど、地域の新たな担い手となって活躍している。